

人物図鑑

ねむろを愛する
素敵な人たち情報の共有から始まる
パソコンの世界へ

パソコンサークルP-win代表

工藤 かつどう

勝代さん (44)

「自分が、楽しくパソコンを操作している姿をイメージすること。それが、続けられる秘訣ではないでしょうか。」と、パソコンサークルP-winの代表を務める工藤勝代さんは、楽しく学べるサークル活動を目指します。現在、P-winは30名の会員で、月に4回程度の活動を行っています。工藤さんが、パソコンを持つようになったのは9年前。4年前には、マイクロソフトオフィシャルトレーナーの資格を取得しました。「書類の作成など、仕事においてパソコンが必要でした。作成した書類を見た方から、教えてほしいとの声に、教えるからには自分が納得できる資格を身に付けてからと考え、この資格を取りました。」資格を取得後には、もっと皆さんにパソコンに親しんでもらいたいという気持ちから、成人学校

のパソコン教室の講師も務めました。教室が終了した際、受講生からの「これをきっかけに続けていきたい」との声が、サークル立ち上げへと結び付きました。

パソコンを始めるきっかけは人さまざまです。「子どもとメールがしたい」「一歩踏み込んだ編集がしたい」など、まずは自分がやってみたいことを中心にパソコンに触れることが大切だと工藤さんは話します。

サークルでは、20代から80代までの方々がそれぞれの目標に向かいパソコンと向き合っています。「自分のレベルを気にせず、一つひとつマスターしていくことで自信が生まれてきます。サークルでは、仲間との情報を共有することも大切です。会員の皆さんから教えられることも多く、みんなできり上げていくサークルだと考えています。」一人ひとりに優しく指導をする工藤さんからは、年代に縛られない交流と学ぶ楽しさを伝える笑顔を見ることができそうです。パソコンが苦手という方も、マイペースで取り組むことができるならやってみようと思っただけでいいと思います。始めようか。